

Build Live Japan 2015 募集要項 A -プロポーザル-

2015 年 5 月

競技方式概要

広く意見とアイデアを募るプロポーザル。「この建築物（群）を作るとなぜ地域の活性化につながるか」を提案していただき、内容は、的確性、実現性、独創性の観点で評価されます。

1. 競技への参加要件

BLJ2015 では、各種のデータ提供・提出をインターネット経由で行います。高速のインターネット接続が必要です。なお、インターネット通信にかかる費用は全て応募者負担とします。

2. 提案内容

大分県杵築市の城下町地区で「この建築物（群）を作るとなぜ地域の活性化につながるか」のアイデアを提案してください。地域の課題分析、対応（設計）方針、活性化につながる理由などの記載があるとわかりやすいと思われます。

前提として、交通インフラ・既存建築物等のハードは現状通りとしますが、ソフトの改善（※）提案は可能です。

※：バス増便、wi-fi によるまちガイドサービス、地区計画の一部緩和 等々自由に

3. 提出物

テキストおよび図版、音声、動画などで構成されたコンテンツで適切に提案内容を説明し、5 分以内で視聴できるもの

具体的には、A4 版 4 ページ以内のコンテンツや、それに音声で 5 分までの説明を組み合わせたもの、Powerpoint・PDF・動画（Windows で再生できること）など

4. 地域賞審査基準に用いる提案

的確性、実現性、独創性の観点で地域・主催者などによる審査を行い応募提案の中から若干点数を選定し、BLJ2015 に先だつて選定提案を公開します。

選定された提案は地域賞の審査基準の一部を構成します。（プロポーザル段階で提案が選定された応募者はそれに沿って BLJ2015 の作品を作成すると地域賞受賞の可能性が高まり、残念ながら選定されなかった応募者も選定された応募者の提案を参酌したり更に改善することで BLJ2015 で地域賞に十分チャレンジできます。）

なお、提案は BLJ2015 の課題設定と地域賞の審査基準に用いるためにそのアイデアを利用するものですから、当該敷地で将来建築物が建設されたとしてもいかなる権利付与もありません。

5. 情報公開

提案（提出物）は主催者の判断に基づき、応募者のニックネームとともに公開します。非公開の場合、理由は開示しません。

-以上